

資料2－1

県アレルギー疾患対策集学的医療機関事業計画



皆様、大変お忙しい中、
資料作成にご協力いただき誠にありがとうございました。

北里大学病院の事業計画

●人材育成について

令和6年度 事業実施状況、実績等	令和7年度 事業内容等
アレルギーワーキング(年4回) ・アレルギー関連インシデントの分析 ・リスクマネジメントニュース(院内医療従事者安全性情報に関する刊行物)による情報周知 ・院内安全マニュアル(アナフィラキシー対応など)の改訂 アレルギー講習会(年1回)講師:小児科医師 テーマ:アナフィラキシー～あなたならどうする?～ 現地参加:63名 (院内広報システムによる事後でのWeb受講可)	アレルギーワーキング ・アレルギー関連インシデントの分析 ・リスクマネジメントニュースによる情報周知 ・院内安全マニュアルの改訂 ・食物アレルギー関連のシステム導入 など アレルギー講習会(年1回) 医師・薬剤師・栄養士による食物アレルギー関連の対応について、全職員向けの講習会を開催予定

聖マリアンナ医科大学病院の事業計画 (横浜市西部病院含む)

●人材育成について

令和6年度 事業実施状況、実績等	令和7年度 事業内容等
別添の「アレルギー専攻医研修マニュアル」および「アレルギー専門研修指導医マニュアル」に即して、医師・医療従事者の育成や、医療従事者に対する知識や技能向上に向けた研修の一環として、全科向けの勉強会を準備し、来年度以降に備えた(令和6年度は未実施)。	当院の「アレルギー専攻医研修マニュアル」および「アレルギー専門研修指導医マニュアル」を人事異動に合わせ更新し、医師・医療従事者の育成や、医療従事者に対する知識や技能向上に向けた研修の一環として、全科向けの勉強会(本年1回実施、50名程度)を今年度後半の開催に向けて現在準備している。

聖マリアンナ医科大学病院の事業計画 (横浜市西部病院含む)

●その他事業(任意記載)について

令和6年度 事業実施状況、実績等	令和7年度 事業内容等
令和5年度と同様に、別添の「アレルギー専攻医研修マニュアル」および「アレルギー専門研修指導医マニュアル」に即して、医師・医療従事者の育成や、医療従事者に対する知識や技能向上に向けた研修を実施し、継続的な人材育成を図った。	県健康医療局からご依頼のあった「アレルギー疾患にかかる専門性の高い医療機関調査票」の作成に際して、当院では耳鼻咽喉科、呼吸器内科、小児科、眼科、皮膚科、リウマチ・膠原病・アレルギー内科等、アレルギー診療に関わる診療科すべてに調査協力をいただいた。結果的に、各科で診療しているアレルギー疾患とその検査・治療の実際やアレルギー疾患に関わる医療従事者の在籍状況を正確に把握することができた。

東海大学医学部付属病院の事業計画

●人材育成について

令和6年度 事業実施状況、実績等	令和7年度 事業内容等
日本アレルギー学会専門医を目指す若手医師の育成について 呼吸器内科：2名がアレルギー専門医取得を目指している。 日本アレルギー学会専門医所得を希望している内科医が所属する国立病院機構神奈川病院内科について、専門医教育研修準施設としての申請を援助した。 小児科：新たに2名がアレルギー専門医を目指すことになった。	呼吸器内科：1名がアレルギー専門医を受験する予定。その他に新たに1名が加わり、計2名がアレルギー専門医研修を行う予定。 小児科：1名が新たにアレルギー専門医研修を開始し、1名が専門医を受験する予定 日本アレルギー学会専門医を目指す若手医師の育成を継続する。 近隣の病院、診療所に疾患についての啓発活動の継続 東海大学内でアトピー性皮膚炎については乾癬・アトピーセンターと連携し、関連各科の啓発と専門医、専門職員育成

東海大学医学部付属病院の事業計画

●その他事業(任意記載)について

令和6年度 事業実施状況、実績等	令和7年度 事業内容等
平日午後に紹介初診予約枠を設け、午後にも初診患者が受診可能な外来体制を構築した。	東海大学医学部付属病院におけるアレルギーセンター設置とアレルギーセンター外来の開設に向けて準備を進める。 アレルギー・好酸球研究会2025／第34回国際喘息学会日本・北アジア部会 合同大会を共催する(第34回国際喘息学会日本・北アジア部会会長 浅野浩一郎)

横浜市立大学附属病院の事業計画 (市民総合医療センター含む)

●人材育成について

令和6年度 事業実施状況、実績等	令和7年度 事業内容等
メーカー共催の地域連携の会を通じて、重症喘息の診断、治療を中心とした連携強化に努めた(年1回、50名が参加) 日本呼吸器学会主催 臨床呼吸機能講習会(初期臨床医セミナー)にて、呼吸器内科若手医師への、喘息診療の基本をレクチャーし、疾患啓発に努めた。	メーカー共催の地域連携の会を通じて、重症喘息を含めた慢性呼吸器疾患の診断、治療を中心とした連携強化に努める(年1回(毎年約50名が参加))。2026年1月28日開催予定。 日本呼吸器学会主催 臨床呼吸機能講習会(初期臨床医セミナー)にて、呼吸器内科若手医師への、喘息診療の基本をレクチャーし、疾患啓発に努めた。 「難治性喘息治療センター」を9月より開設し、生物学的製剤適応重症喘息を中心とした診療を、耳鼻咽喉科、皮膚科と連携して展開している。